

# 『五霞町立学校のあり方検討会通信』

～ 次世代の学校教育が目指す姿 ～

No.6  
(最終号)  
令和2年  
11月発行

## 具申書完成 教育委員会へ提出しました



令和2年10月9日に第5回五霞町立学校のあり方検討会を開催し、これまでの検討内容を具申書にまとめ、検討会から教育委員会へ具申書を提出しました。

町に対して、具申書を踏まえより良い教育環境の整備をお願いしました。

町内の皆様には、アンケート等によりご意見、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

### 具申書の概要

※具申書全文は、町ホームページに掲載しています。

#### 【基本的な方向性】

##### (1) 小学校統合

本検討会においては、目指す子供像を踏まえて小学校2校を1校に統合することが望ましいという結論に達しました。

その理由は、次のとおりです。

ア 学校規模の適正化を図ることで、より多くの人との関わりの中で子供を成長させたい。

イ 限られた予算の中、2校に関わる維持管理費を1校に集中することで、子供一人当たりの教育費を十分に確保し、柔軟かつ豊かな教育環境を整えられる。

ウ 小学校内の教職員数が増えることで、教職員にとっても様々な指導法を相互に研修し実践できる環境が整い、教職員の指導意欲及び子供たちの成長につながる。

エ 町の将来を担う子供たちが日々学ぶ小学校を統合することで、より良い学校づくりは、町の発展につながるという町民の意識が高まり、学校への協力体制づくりにつながる。

なお、小学校統合後も教育環境を整備し、町の特性を生かした教育課程を持ち、きめ細やかな指導を積み重ね、小規模校の欠点を緩和し、解消していくことが、時代の要請に応え、子供たちの健やかな成長につながると考えます。

## (2) 小中一貫教育

本検討会では、小学校統合に当たり小中一貫型小学校・中学校を目指すべきという結論を得ました。

その理由は次のとおりです。

- ア 多様な異学年交流の活発化，より多くの教員が児童及び生徒に関わる体制の確保，中学校区を単位とした地域の教育力の強化を図ること。
- イ 小中一貫教育によって中 1 ギャップを和らげ，教育内容や学習活動の量的・質的充実に対応しつつ，小学校と中学校が分離していることで小学校でのリーダーである最高学年を経験できるという特性を生かし，小学校 6 年生の段階で大きな成長を促す指導を充実させること。
- ウ 部活動等の連携を図り，児童及び生徒の体力増進と異学年で一つの目的に向かう教育効果を求めつつ，中学校に入学することにより，憧れの気持ちや期待感を強く持って新たな学校生活をスタートすること。

なお，将来的に，より柔軟性を求められるときには，義務教育学校を開校することも検討し小中一貫教育に取り組むべきと考えます。

## 【具体的な方策】

### (1) 実施場所

本検討会では，教育拠点としての環境が整っている五霞中学校敷地及び隣接する五霞西小学校敷地での小学校統合及び小中一貫教育の実施が望ましいという結論に達しました。

### (2) 実施時期

児童数の推計及び準備期間を考慮すると，令和 6 年度を目途に統合することが望ましいという結論に達しました。



< 発行者 >  
五霞町立学校のあり方検討会事務局  
(五霞町教育委員会内)  
〒306-0307  
茨城県猿島郡五霞町大字小福田 148 番地 1  
TEL : 0280-84-1462 FAX : 0280-84-1461

具申書全文及びこれまでの検討会の活動内容は、五霞町公式 HP でも紹介しています。

